


次期環境基本計画の基本的なフレーム（案）

現環境基本計画の概要		次期環境基本計画のフレーム（案）	修正理由
<p>第1章 環境基本計画の基本的事項について</p> <p>1 千葉市の概況 2 計画策定の背景 3 計画策定の基本的な考え方 4 計画の性格及び位置付け 5 計画の目標年次 6 計画の対象</p>	<p>資料編へ 削除</p>	<p>本編</p> <p>【新規】はじめに</p> <p>第1章 環境基本計画の基本的事項について</p> <p>1 計画策定の背景 2 計画策定の基本的な考え方 3 計画の位置付け 4 計画期間</p>	<p>方針4：関連する計画と整合性のとれた計画作り 「(仮称) 千葉市基本計画」との整合を図ります。 環境分野の部門別計画との役割を明確に示します。</p>  <p>方針4</p>
<p>第2章 千葉市の目指す環境像と基本目標</p> <p>1 望ましい環境都市の姿 2 目指す環境像 (1) 5つの目指す環境像 (2) 目指す環境像の内容 (3) 目指す環境像が実現された千葉市のまちの姿や市民の暮らし (イラスト) 3 基本目標 (1) 体系、(2) 内容</p>	<p>削除</p>	<p>第2章 千葉市の目指す環境像と基本目標</p> <p>1 望ましい環境都市の姿 2 目指す環境像 (1) 5つの目指す環境像 ※ゴールの設定も視野に入れる。 (2) 目指す環境像の内容 ※数値目標の設定 3 基本目標 と施策の方向 (3) 【追加】 施策の方向性 (第3章より移動) 4 【追加】 環境基本計画の全体基本構成図 (資料より移動)</p>	<p>※現計画を基本として、社会情勢等を踏まえた修正</p> <p>方針1： SDGsの考え方を最大限取り入れた計画作り</p> <p>方針1、 方針1、 方針3</p>  <p>さらに、目標から逆算して必要な基本目標や施策を策定します。 ("バックキャスト"の採用)</p>
<p>第3章 基本目標達成に向けた取組み</p> <p>・市の役割、市民の役割、事業者の役割 ・目指す環境像と基本目標毎 (1) 現況と課題 (2) 基本目標 (3) 定量目標及び点検・評価指標 (4) 施策・方向性 方向性毎の施策・事業例 (5) 市民及び事業者の取組み</p>	<p>第4章へ 第2章へ 別冊へ 第4章へ</p>	<p>方針3：目標・達成状況が分かりやすい計画作り 環境像ごとに、進捗(達成)状況を把握するため重要目標達成指標(KGI)を設定します。</p>	
<p>第4章 定量目標</p> <p>1 定量目標一覧・内容 2 環境目標値</p>	<p>資料編へ</p>		
<p>第5章 事業別・行政区別環境配慮指針</p>	<p>資料編へ</p>		
<p>第6章 環境基本計画の推進について</p> <p>1 推進体制 2 環境基本計画の点検・評価</p>		<p>【新規】第3章 環境基本計画と2030アジェンダとの関係性 ※施策の方向性毎にSDGsの関係を表記</p> <p>第4章 環境基本計画の推進について</p> <p>1 推進体制 2 【追加】 各主体の役割と取組 (第3章より移動) 3 進捗管理</p>	<p>方針1： SDGsの考え方を最大限取り入れた計画作り SDGsに定められたゴール及びターゲットに対する関係性を整理します。 また、SDGsの考え方を本計画へ反映します。</p> <p>方針1</p> <ul style="list-style-type: none"> 普遍性 先進国を含め、全ての国が行動 包摂性 人間の安全保障の理念を反映し「誰一人取り残さない」 参画型 全てのステークホルダーが役割を 統合性 社会・経済・環境に統合的に取り組む 透明性 定期的にフォローアップ
<p>資料</p> <p>1. 環境基本計画の全体基本構成図</p> <p>2. 千葉市環境基本条例 3. 環境基本計画策定の経緯 4. 委員名簿</p> <p>5. 用語解説</p>	<p>第2章へ</p>	<p>【新規】別冊</p> <p>環境像、基本目標の達成に向けた取組み (第3章より移動) 施策の方向性ごとの施策・事業例 (第3章より移動)</p> <p>資料編</p> <p>1 【追加】 市政の概況 (第1章より移動) 2 【新規】 環境を取り巻く現況と課題 3 【新規】 千葉市の取組状況 4 千葉市環境基本条例 5 環境基本計画策定の経緯 6 委員名簿 7 【追加】 数値目標一覧 (第4章より移動) 8 【追加】 環境目標値 (第4章より移動) 9 用語解説 10 【追加】 事業別・行政区別環境配慮指針 (第5章より移動)</p>	<p>方針2：変化に対応する計画作り 別冊とすることで、点検・評価等において適宜見直しを可能とし、環境情勢に柔軟かつ早期に対応します。 [短期的な見直しの対象] ・施策、事業例 ・環境目標値 ・指標</p> <p>方針2</p> <p>方針1： SDGsの考え方を最大限取り入れた計画作り 2030年を期限とする国際目標の達成への寄与、環境、経済、社会の三側面の統合的向上を目指す方向性を踏まえて計画策定を行います。</p> <p>方針1</p> <p>方針3：目標・達成状況が分かりやすい計画作り 重要目標達成指標に関連する指標や、各種施策の進捗状況などの成果指標(KPI)については別冊とし、適宜見直しを図ることを可能とします。</p> <p>方針3</p>